

台風19号を
乗り越えて——



1 台風19号について

台風19号について

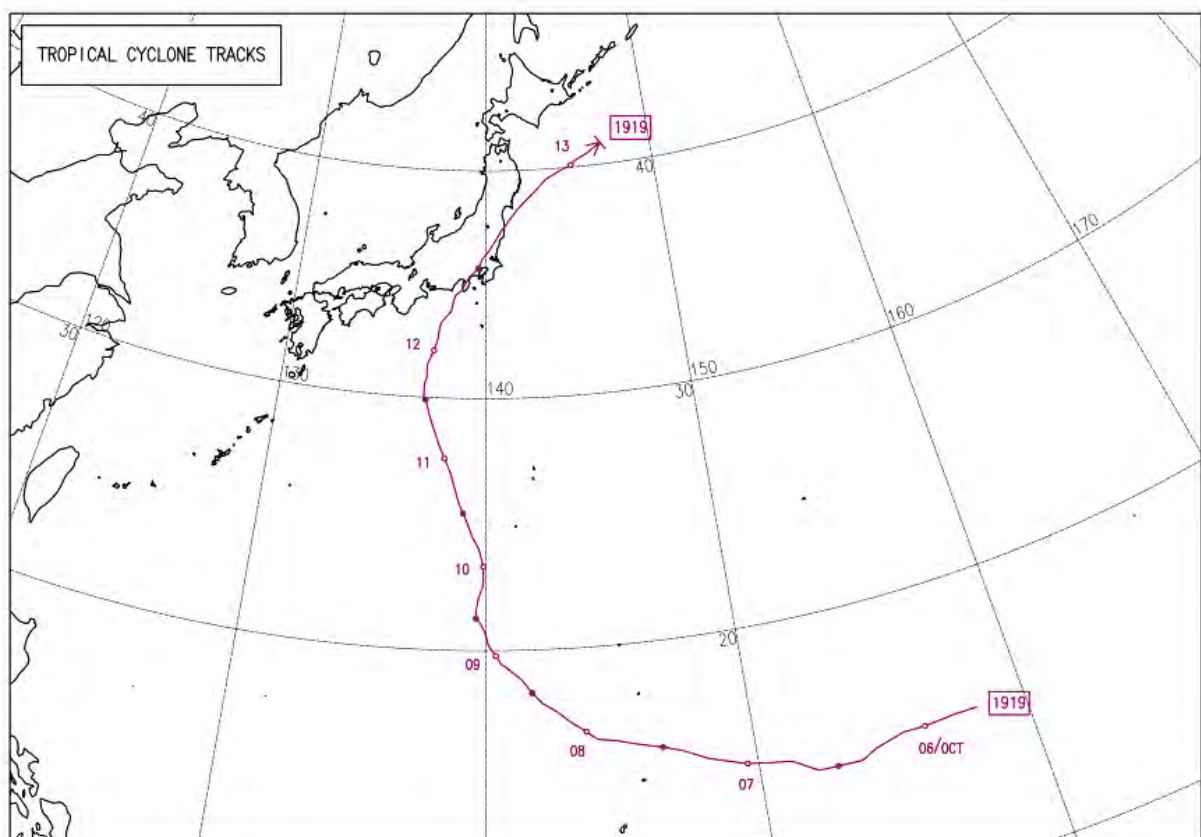
防災センター長 吉田 和夫

令和元年10月6日南鳥島近海で発生した台風19号は、マリアナ諸島を西に進み、一時、大型で猛烈な台風（中心気圧915hPa、最大風速55m）に発達し、進路を北に変えながら日本の南を北上し、12日19時には大型で非常に強い勢力（中心気圧945hPa、最大風速45m）を保ちながら伊豆半島に上陸しました。その後、関東・東北地方を通過し、各地に記録的な大雨、暴風等による大きな爪痕を残しながら、13日12時頃には、日本の東で温帯低気圧に変わりました。

雨は、10日から13日までの総降水量が、神奈川県箱根で1,000mmに達し、東日本を中心に17地点で500mmを超え、特に、静岡県や新潟県、関東・甲信地方、東北地方など多くの地点で観測史上1位の値を更新する記録的な大雨となりました。

この大雨に伴い10月12日15時頃から、静岡県、神奈川県、東京都、埼玉県、群馬県、山梨県、長野県、茨城県、栃木県、新潟県、福島県、宮城県、岩手県など1都12県で大雨特別警報が発令されました。（13日8時40分までにすべて解除）

また、大雨により広い範囲で河川の氾濫が相次いだほか、土砂災害や浸水被害も発生し、この大雨による災害や暴風等により、人的被害や住家被害、電気・水道・道路・鉄道施設等のライフラインにも被害が発生し、航空機や鉄道の運休など交通障害が多発しました。風については、東京都江戸川臨海で最大瞬間風速43.8m/sと観測史上1位を更新したほか、関東地方7箇所で最大瞬間風速40m/sを超え、台風接近に伴い大気の状態が不安定となった千葉県市原市では、竜巻と推定される突風が発生しました。



気象庁HP「台風経路図」より引用

また、この記録的な大雨に伴い、県内中央を南から北へ流れる阿武隈川(一級河川、福島県内流域181km)では、郡山市の阿久津観測所で、計画高水位(堤防天端)を超え、さらに、郡山市内を流れる県管理河川の逢瀬川や谷田川では破堤が生じるなど、各地に大規模な浸水被害が発生しました。

台風19号に伴う郡山市内の被害状況

被害の種別	郡山市内	
人的被害	死者	6 人
	行方不明	なし
	重傷者	なし
	軽症者	1 人
建物被害	床上浸水	6,542 棟
	床下浸水	847 棟
	全壊	638 棟
	半壊	2,978 棟
	一部損壊	1,873 棟
浸水面積		1,437 h a

郡山市HP「台風19号被害状況 12/26現在」より抜粋

星総合病院周辺の浸水状況図



台風19号に伴う郡山市の降水状況

時 刻	降水量 (mm)	累計降水量 (mm)	水位 (m)	上昇水位 (m)	河川警報等
12日 1 時	0.5	0.5	0.33	—	
2 時	0.0		0.32	−0.01	
3 時	0.5	1.0	0.33	—	
4 時	0.0		0.33	—	
5 時	0.0		0.33	—	
6 時	0.0		0.32	−0.01	
7 時	0.0		0.33	0.01	
8 時	0.0		0.33	—	
9 時	0.5	1.5	0.33	—	
10 時	5.5	7.0	0.34	0.01	
11 時	9.0	16.0	0.66	0.32	
12 時	6.5	22.5	1.25	0.59	
13 時	1.5	24.0	1.40	0.15	
14 時	4.5	28.5	1.48	0.08	
15 時	3.0	31.5	1.93	0.45	
16 時	10.0	41.5	2.37	0.44	
17 時	13.0	54.5	3.11	0.74	
18 時	12.0	66.5	4.07	0.96	4.0m水防団待機水位
19 時	14.0	80.5	4.81	0.74	
20 時	19.5	100.0	5.63	0.82	5.5mはん濫注意水位
21 時	22.5	122.5	6.70	1.07	
22 時	22.0	144.5	7.74	1.04	6.8m避難判断水位
23 時	26.5	171.0	8.79	1.05	7.9mはん濫危険水位、 8.67m 計画高水位。
24 時	14.0	185.0	9.61	0.82	
13日 1 時	9.5	194.5	9.99	0.38	
2 時	0.0		欠測	—	
3 時	0.0		10.0	0.02	
4 時	0.0		閉局	—	
5 時	0.0		閉局	—	

福島河川国道事務所 阿武隈川水位・雨量より